

# はじめまして「アンガージュマン・よこすか」です



事務所の中も大忙し

7月24日～25日、横須賀上町町内で開かれた夏祭りに、今年4月当町商店街に事務所を開設したばかりの「アンガージュマン・よこすか」の皆さんが参加した。25日は広く地域の人々に「アンガージュマン・よこすか」の存在をアピールすべく、活動の拠点である事務所を終日一般開放した。事務所前街頭ではイカ入り特性焼きそばと猛暑の夏に一層美味しいかき氷が販売され、事務所の中ではお茶や自家製ケーキ、手焼きクッキーが用意された。当日は朝からスタッフの小柳さん、吉本さん、伊藤さん、町田さん、平野さん、河野さん、ボランティアの佐々木さん、陣内さんらが会場準備にあたり、手作りのもてなしの場ができた。焼きそばは好評を得て59食を売り上げ、事務所を訪れた子供たちにはパソコンによるお絵描きレッスンで楽しんでもらうなど、事務所は大勢の人々で賑わい活気のある一日となった。



パソコンでお絵かきレッスン

## アンガージュマン＝社会参加

「アンガージュマン・よこすか」は、何らかの理由で学校を長期間休み続けている子供たちや社会から自分を閉ざし続けている人たち、そしてその保護者たちをさまざまな側面から支援するため、NPO法人として今年4月に活動を開始した。代表は小柳良さん。主な活動は子供たちへの学習支援、苦悩する当事者や不安を抱える保護者へのカウンセリング、保護者・当事者の自助グループ活動等だ。学習サポートやカウンセリングには教育や心の問題を扱う専門家たちが顔を揃えた。父親が集う会の主催、講演会開催なども積極的に行っている。そして一番に優先するのが、安心して心を許し気持ちを開いて訪ねることができる居場所を当事者たちに提供すること。この上町商店街にある事務所はそんな居場所になっている。4月にスタートして4カ月が経過した7月時点で、アンガージュマンの会員はすでに100家族に達した。さまざまな活動を展開していく中で、いずれは当事者たちのために就労の機会をも支援していきたいと、小柳さんは語る。

アンガージュマンには「社会参加」という意味がある。スタッフの決意にも、当事者たちの未来にも「アンガージュマン・よこすか」という名は力強く響く。



団体名	NPO法人アンガージュマン・よこすか
連絡先	吉本 照子 (TEL046-801-7881)
取材日	7月25日(日)
開催場所	アンガージュマン事務所(上町2-4)
リポーター	小林 玲子

